

科目名称	基礎整復学
授業コード	BH120
英語名称	Fundamental reposition by Judo 1
学期	2024年度前期
単位	2.0
担当教員	畑山 元政
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	柔道整復師の基礎となる柔道整復術の成り立ちや柔道との関わり、柔道整復術の現代的意義とその沿革について教授する。 また、柔道整復師が行う柔道整復術の業務範囲と施術の限界、柔道整復師としての心得や倫理綱領の理念を学ぶ。
科目に関連する実務経験と授業への活用	柔道整復師が接骨院で扱う運動器外傷について、長年接骨院に勤務し患者をみてきた柔道整復師が施術経験や知識を活かして講義する。
到達目標	柔道整復の社会的成り立ちを学び、柔道整復師の業務範囲と指導要領など教育の現状を理解する。柔道整復術の治療法における非観血療法の限界を学ぶことで柔道整復師という職域の理解を深め、専門職としての基礎的な考え方、知識を身につける。この科目は専門分野の科目群のひとつである。 ・カリキュラム・ポリシーに掲げる「伝承的（経験的）医療から近代医療の最新知識と技術を修得し、外傷施術を科学する探究心を涵養し、地域医療に貢献できる」が実現するよう、柔道整復学分野の基本的な知識を身につける。
計画・内容	第1回 ガイダンス、第1章概説（1.柔道整復術および柔道整復師の沿革） 第2回 第1章概説（1.柔道整復術および柔道整復師の沿革） 第3回 第1章概説（2.業務範囲とその心得および柔道整復師倫理綱領） 第4回 第2章総論（1.人体に加わる力、2.損傷時に加わる力） 第5回 第2章総論（3.痛みの基礎） 第6回 第2章総論（5.診察） 第7回 第2章総論（6.治療法：6-1 整復法 骨折） 第8回 第2章総論（6.治療法：6-1 整復法 脱臼、軟部組織損傷の初期処置） 第9回 第2章総論（6.治療法：6-2 固定法） 第10回 第2章総論（6.治療法：6-3 後療法 手技療法） 第11回 第2章総論（6.治療法：6-3 後療法 運動療法） 第12回 第2章総論（6.治療法：6-3 後療法 物理療法） 第13回 第2章総論（6.治療法：6-4 指導管理） 第14回 第2章総論（7.外傷予防） 第15回 まとめ、理解度の確認
授業の進め方	教科書に沿って講義する。随時視覚教材を使用して解説していくことで、知識の研鑽を行えるよう進めていく。また、必要に応じて資料等の配布を行う。授業内で学生への質問も行う予定なので、積極的な授業態度が期待される。 課題は、事前に提示された期日までに提出することを基本とする。
能動的な学びの実施	該当しない
授業時間外の学修	予習：各回、教科書の該当箇所の通読を行うこと。(15時間) 復習：配布資料や授業中書き留めたメモをまとめ、独自の講義ノートを作成すること。(45時間)

教科書・参考書	公益社団法人全国柔道整復学校協会監修，公益社団法人全国柔道整復学校協会・教科書委員会編，柔道整復学・理論編，改訂第7版，南江堂
成績評価方法と基準	定期試験（80％）+レポート（20％）
課題等に対するフィードバック	レポートは返却する。
オフィスアワー	CampusSquareを参照
留意事項	本科目は柔道整復師国家試験の受験資格取得にとって必要であるから必ず履修する事。 授業の進行により内容が変更されることもあるので留意すること。
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	授業の進め方 Zoomによるオンライン授業と課題学修を組み合わせで実施する。 成績評価方法と基準 授業中の課題60％と期末レポート40％で評価する。